

指定ごみ袋は延期を!

日本共産党

市民の納得と合意が最優先です



千葉県習志野市のごみ集積所。矢印は習志野市の指定ごみ袋。それ以外は、「透明もしくは半透明の袋」というルールを守れば、市民が自分で選び、購入しやすい安価なごみ袋で家庭ごみを集積所へ出すことができ、市もきちんと回収しています。

「指定袋だけで解決できない」

「今でも、広義の意味では指定袋」担当課答弁

昨年のパブリックコメント（市民からの意見募集）に続き、年明けの説明会でも疑問、異論、反論が数多く聞かれた指定ごみ袋の導入。

いっぽう担当課は、党市議団の質問に「科学的検証が必要。指定袋の導入で（減量・資源化）すべてが解決できない」、「対話を重ね、目的を達成したい」と答弁。さらに、現時点でも市民へ使用をお願いしている透明もしくは半透明のごみ袋について、「今でも、広義の意味では指定袋」と回答しています。来年4月以降、指定ごみ袋以外は回収しないという強権を発動し、無理やり押し付けようとする市長の姿勢は許されません。

ごみ行政は、市民の納得と合意に基づく協力・協働なくして、減量・資源化、CO2削減は前進しません。指定ごみ袋導入の前に、家庭ごみの成分調査や分別・資源化の注意点等の徹底こそ、いま市がやるべき仕事ではないでしょうか。

2021年度 予算

新型コロナ対策、いのちと暮らしを守る提案

711億円…コロナ禍における当初予算は、過去最大規模となった流山市。しかし、国・県・市の支出合計でも新型コロナ関連経費はわずか2%です。さらに、感染対策として創設した制度を打ち切る一方、従来型の大型開発や観光事業などへ予算配分が優先されています。また、指定ごみ袋の導入や市有地活用をめぐる、政策判断の不透明さなどから、党派を超えて説明責任を求める意見が相次ぎました。

市議団は、「民間バスの便数が減って大変」、「学校現場での暴力的な指導をなくしてほしい」、「地域経済を守ってほしい」などの要望を届け、感染対策の拡充と、いのち・暮らしを守る提案に力を尽くしました。

介護保険料値上げ

制度開始から21年目を迎える新年度。介護保険料は、平均で年間4900円も値上げされます。高齢者の医療費窓口負担の大幅引き上げも議論されており、影響はより深刻です。党市議団は、保険料値上げを含む条例改正に反対しました。

政治を前へ、市民との運動実る

新年度予算には、市民運動も実りました。大学生らの修学を応援する「学生応援給付金」は新年度継続されるとともに、市独自の奨学金は看護学生枠が拡大され、介護福祉士を目指す学生への奨学金が創設されました。

それ以外にも、保育士の負担軽減を図る職員配置への補助、障がい児発達支援センター職員の処遇改善、困窮世帯学習支援の対象拡充、高齢者施設職員PCR検査などが盛り込まれました。



会派	日本共産党				流政会							自由民主党			公明党		市民クラブ		新生令和										
	乾 紳 一 郎	高 橋 光	植 田 和 子	小 田 桐 仙	坂 巻 儀 一	渡 辺 仁 二	野 田 宏 規	近 藤 美 保	大 塚 洋 一	石 原 修 治	笠 原 久 恵	森 亮 二	青 野 直	海 老 原 功 一	加 藤 啓 子	中 村 彰 男	中 川 弘	齊 藤 真 理	岡 明 彦	戸 辺 滋	野 村 誠	楠 山 栄 子	西 尾 段	森 田 洋 一	藤 井 俊 行	菅 野 浩 考	大 野 富 生	阿 部 治 正	
令和3年度一般会計予算	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×
新型コロナワクチン接種について適切な措置を求める附帯決議	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	議 長	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○
介護保険料値上げの条例改正	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	議 長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
高齢者医療費の窓口負担2割引き上げに関する意見書	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	議 長	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	×	○	○	

